

## 田中理事長が国連ハイレベル・イベントに参加 01



ハイレベルイベントでのパネル討論に参加した田中理事長(左)

2015年に達成期限を迎えるミレニアム開発目標(MDGs)。今年秋の第69回国連総会に向けて、国際社会ではMDGsを引き継ぐ2015年以降の開発課題(ポストMDGs)についての議論が進められています。

その一環として5月21~22日、国連総会議長が主催する「ポスト2015開発アジェンダの実施における、南北協力・南南協力・三角協力・開発のための情報通信技術(ICT)の貢献」と題したハイレベル・イベントがアメリカ・ニューヨークで開催されました。

これに田中明彦JICA理事長が出席し、アジア・バルセナ・イバエラ国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会事務局長らと共にパネル討論に登壇しました。経済成長や持続可能な開発の実現に向けて、南北協力・南南協力・三角協力といったさまざまな協力アプローチをどう強化



アッシュ国連総会議長と会談し、ポストMDGsについて意見交換

できるかについて意見を交わしました。

田中理事長はこれまでJICAが関わった三角協力の事例を紹介しながら、「ポストMDGsへの取り組みには、南南協力・三角協力が重要な役割を果たす」と強調しました。それを受けて、JICAと長年三角協力を実施した経験を持つメキシコ政府代表などから、これまでの日本の国際協力を評価する意見が聞かれました。

このハイレベル・イベントの参加に先立ち、田中理事長はジョン・アッシュ国連総会議長、ヤン・エリアソン国連副事務総長、ヘレン・クラーク国連開発計画(UNDP)総裁といった国連関係者と個別に面談。ポストMDGsに関するJICAの考えを紹介し、2015年以降に向けてより一層の連携を強めていくことを確認するなど、意見交換を行いました。

## ナイジェリアのポリオ撲滅を円借款で支援 02



調印式の様子。ポリオ撲滅への貢献を目指す

5月26日、JICAは「ポリオ撲滅事業」を対象として、ナイジェリア政府と82億8500万円を限度とする円借款貸付契約に調印しました。

アフリカ最大の人口と経済規模を持つナイジェリアは、経済成長が著しいものの、アフリカ大陸で唯一のポリオ常在国。同国政府は早期撲滅を目指してさまざまな活動に力を入れ、感染数は減少傾向にあります。今回の円借款で貸し付ける資金は、ポリオ・ワクチン約4億7600万ドース(投与量の調達に充てられ、全国の5歳未満児に対するポリオ・ワクチンの接種を支援します。

成果が上がれば、ナイジェリア政府の円借款の返済をビル&メリンダ・ゲイツ財団が肩代わりする手法「ローン・コンバージョン」を採用するなど、多くの機関と連携して進めていく方針です。

## 開設5周年「なごや地球ひろば」で国際協力を学ぼう! 03



「世界の遊び」ではフィリピン版のけんけんぱ「ピコ」も体験

今年で開設5周年を迎えたなごや地球ひろばでは、8月31日まで企画展「世界の子どもたち」を開催中です。日本を含む4カ国に住む子どもたちの暮らしを写真やパネルで紹介し、それぞれが直面する課題と解決策について考えます。

これに連動して、世界の遊びや子育て話から、より深く世界の課題を学ぶイベントも開催します。開設5周年記念イベントとして6月1日に行われた「世界の遊び」では、約140人がメキシコやフィリピンなどの遊びを体験し、各国について楽しく学びました。

なごや地球ひろばを夏休みの自由研究にぜひご利用ください。

【問い合わせ】JICA中部市民参加協力課  
 【TEL】052-533-0121  
 【URL】www.jica.go.jp/nagoja-hiroba/news/event/2014/20140515\_01.html